

▼種別（レポート（スライド含む）・論文）いずれかを明記ください。

【レポート】

ここにレポートの概要を9ptで200字以内で入力して下さい

遊具の危険性については近年様々な議論が行われています。遊具における事故が発生した場合、行政など設置者にその責任が大きく課せられます。しかし、子どもたちが学ぶはずの危険予測力までも遊具とともに撤去すると遊具としての魅力までも無くなってしまいます。本レポートでは子供たちがより安全に楽しく、子供たちの成長に必要な環境をつくるため、学校および公園に設置されている遊具のあり方と安全管理について提言します。

サブタイトルが不要の方は、削除して下さい。

遊具のリスク管理とハザード除去 ←16pt MS-ゴシック

— ○○○○○ — ←サブタイトル 12pt MS-ゴシック

10pt MS-明朝 → □□県本部 / □□□・□□□ □□□□

←組織名と所属は中黒『・』で区切ってください

スライド（パワーポイント等）や動画の場合は、以下の記入は不要です

↑略称ではなく正式名称でお願いします。

1. はじめに ←14pt MS-明朝

10pt→ MS-明朝

学校や公園に設置してある遊具は、子どもたちに冒険や挑戦といった遊びを提供し、その中で子どもたちは危険予知・回避を学んでいます。小学校に設置してある遊具では、1年生から6年生と大きく年代の異なる子どもたちが交わり、遊びを通じて社会性や道徳心を育む機会の場となっています。しかし、遊具には危険が伴うことも事実であり、誤った遊び方や故障によるトラブルには重大な事故につながるケースもあります。

遊具の危険性については近年様々な議論が行われており、事故発生率が高い遊具の撤去から安全性確保の質を高める政策が求められるなか、2003年には国土交通省より『都市公園における遊具の安全確保に関する指針』が示されています。遊具における事故が発生した場合、行政など設置者にその責任が大きく課せられます。しかし、子どもたちが学ぶはずの危険予測力までも遊具とともに撤去すると遊具としての魅力までも無くなってしまいます。それでは遊具の撤去と安全管理はどのような形で求められているのでしょうか。

本レポートでは子供たちがより安全に楽しく、更には子供たちの成長に必要な環境をつくるため、学校および公園に設置されている遊具のあり方と安全管理について提言します。

2. 学校に設置してある主な遊具

遊具は体を動かすことで子どもたちの運動機能を向上させ、心身が健全に育成されることを目的として設置されています。松江市の学校・公園には以下のような遊具が設置されています。この他ではシーソー、タイヤ飛び、平均棒、太鼓橋などがあります。



ブランコ（揺動系遊具）



滑り台（滑降系遊具）